

Leading Engineer 認定証管理要綱

制 定 令和 2 年 11 月 25 日局長決

最近改正 令和 7 年 5 月 28 日研修・厚生担当課長決

（趣旨）

第 1 条 この要綱は、大阪市水道局 Leading Engineer（令和 2 年 3 月 26 日局長決裁。以下、「L E」という。）認定証に関し必要な事項を定めるものとする。

（L E 認定証の交付）

第 2 条 L E 認定証は、L E に認定された職員（以下「L E 職員」という。）に交付する。

（L E 認定証の様式）

第 3 条 L E 認定証の様式は、別記様式のとおりとする。

（L E 認定証の取扱い）

第 4 条 L E 職員は、やむを得ない事情がある場合を除き、執務中は常に L E 認定証を携帯し、職務の遂行にあたり必要があるときは、これを提示しなければならない。

2 L E 職員は、L E 認定証を改ざん、または他人に譲渡もしくは貸与してはならない。

（L E 認定証の再交付）

第 5 条 L E 職員は、L E 認定証を紛失、またはき損したときは直ちに届け出し、再交付を受けなければならない。

（L E 認定証の返納）

第 6 条 L E 職員は、次の各号のいずれかに該当するときは、直ちに L E 認定証（第 2 号に掲げる場合にあってはき損した L E 認定証とする。）を返納しなければならない。

- (1) 離職したとき
- (2) L E 認定証をき損し、前条の規定により L E 認定証の再交付を受けたとき
- (3) L E 認定証を紛失した場合において、前条の規定により L E 認定証の再交付を受けたのち、当該紛失した L E 認定証を発見したとき

（施行の細目）

第 7 条 この要綱の施行に関し必要な事項は、研修・厚生担当課長が定める。

附 則

この要綱は、令和 2 年 12 月 1 日から施行する。

附 則

この改正規定は、令和 7 年 5 月 28 日から施行する。

この要綱の施行前に発行された認定証は、なお従前の例による。

別 記 L E 認定証の様式

(表 面)

写真

Leading Engineer 認定証

氏名 ○○ ○○

あなたは当局が主催する養成研修全課程
を修了し当局の定める基準を満たす技術
及び知識を修得されました
よってここにLeading Engineerとして
認定します

○○○年○月○日

大阪市水道局長

(裏 面)

認 定	部 門	認定年月日
◎	配水管工事	○○○年○月○日
	配 水	
	給 水	

〈注意事項〉

・この認定証を紛失もしくは盗竊、または記載事項に変更があったときは、直ちに届け出ること。

寸法：85.6×54mm 程度